

ORACLE ENTERPRISE DATA QUALITY 製品 ファミリ

おもな機能

Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit

- データに潜む問題を発見して数値化するプロファイリング機能
- 監査ルールとビジネス・ルールを比較してデータ品質を測定
- ビジネスと IT の連携を助ける使いやすいインタフェース

Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization

- 名前、住所、日付、電話番号などのデータの変換および標準化
- フリーフォーム・テキストからの構造化情報の抽出
- ビジネス・アプリケーションに合わせてデータの価値を最大化するためのデータの準備

Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge

- 個人、団体または世帯レベルでのパーティ・マッチング
- 個人および企業体へ対応
- 事前構築済みのテンプレートを使用してビジネスに合わせて簡単に調整できる柔軟性の高いルール

Oracle Enterprise Data Quality Address Verification Server

- 全世界を対象にした住所検証およびジオコーディング
- 240 を超える国々の都市または郵便番号へのジオコードの追加
- あらゆる場所、あらゆる住所に対応したロバストな解析、文字変換および標準化

Oracle Enterprise Data Quality Product Data Parsing and Standardization

- 自動学習機能が付いたセマンティックベース認識
- 多数の製品カテゴリおよび高い変動性に対する処理能力
- 項目の分類、属性の抽出、および標準化
- 任意の言語での標準説明
- Governance Studio による例外のレビューと解決

Oracle Enterprise Data Quality ファミリ製品は、企業がビジネスクリティカルなアプリケーションから価値を最大限に引き出せるように、目的にかなったデータを配信します。また、個人および連携するチームは、基礎データに潜む問題を迅速かつ容易に特定して解決できるようになります。*Oracle Enterprise Data Quality* の各製品を使用すれば、新しい機会を見出し、業務の効率化を図り、業界規制や政府規制により効率的に準拠できます。

専用のデータ品質機能

データベースとアプリケーションが存在するようになって以来、データ品質の問題が存在しています。あいにく、データ品質の問題はすべてが同じように発生するわけではなく、問題の解決方法も同じではありません。大きく異なる点には対象データのデータ型やドメインなどがあります。データ品質におけるもっとも一般的なデータ・ドメインは顧客データ（より一般的には、サプライヤ、従業員などを含むパーティ・データ）と製品データです。Oracle Enterprise Data Quality の各製品は、これらの相違点を認識し、それぞれに対処するための専用機能を提供します。

簡単に導入できて使いやすい Oracle Enterprise Data Quality 製品には、データの品質向上に役立つ機能が含まれており、データ管理に取り組むあらゆる人に有用です。Oracle Enterprise Data Quality 製品は次のとおりです。

- Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit
- Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization
- Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge
- Oracle Enterprise Data Quality Address Verification Server
- Oracle Enterprise Data Quality Product Data Parsing and Standardization
- Oracle Enterprise Data Quality Product Data Match and Merge

それぞれの製品について、以下の各項で説明します。

Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit

Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit は、データ品質に関する問題を理解するための基準と、不具合の修正と予防に必要なデータ品質ルールを構築するための基盤を提供します。データの不一致が発生している重要な領域が強調表示され、それらの問題がビジネスに与える影響を分析したり、履歴分析から教訓を得たりすることで、データを深く理解することができます。また、データから直接ビジネス・ルールを定義することもできます。そのため、データ・フィールド同士の相互関係についての先入観なしに、既存のビジネス・プロセス実装およびテクノロジー実装に潜む弱点をすばやく特定できます。

Oracle Enterprise Data Quality Product Data Match and Merge

- 完全一致、あいまい一致、関連一致
- サバイバースhip・ルールに基づいたレコード・マージ
- Governance Studio による一致のレビューと承認

Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit を導入すれば、データベース、スプレッドシート、フラット・ファイルに含まれる大量のデータをビジネス部門で容易にプロファイリングできます。フリーフォーマットのテキスト・データ・フィールドに埋もれている重要な情報の識別には、フレーズ・プロファイリングが役立ちます。これは、テキスト・データを理解するためのオラクル独自のアプローチです。Oracle Enterprise Data Quality Profile and Audit には、収集した統計を保持しておく単一のステージング領域が用意されているため、データソースは変更されません。重要な品質メトリック、欠落しているデータ、誤った値、重複レコード、不一致は、体系的な監査レビューで検出できます。Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization と併用すると、データをこれまでよりも深く理解できるようになります。

プロファイリング・プロセスおよび監査プロセスの結果は、分かりやすいエグゼクティブ・ダッシュボードに表示されます。従業員やマネージャは、定義済みのメトリックに対して進行中のデータ品質を Web ブラウザを使用して監視およびレビューできます。データ品質ダッシュボードを使用すると、ビジネスに甚大な影響が及び始める前に問題を迅速に特定して対処できます。経時的なデータ品質トレンドが表示されるグラフィカルなビューは、しかるべき人が状況を把握し、データ品質への投資を保護することができるようになります。

Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization

Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization には、管理が容易な参照データとシンプルでグラフィカルな構成を使用してデータの変換や標準化ができる関数を豊富に含むパレットが用意されています。数値、文字列、日付といった基本的なフィールド用の関数の他に、名前、住所、電話番号などのコンテキスト・データ用の関数も用意されています。自社のデータや自社が属する業界に固有のルールをカプセル化する新しい関数を、コーディングなしで迅速に構成、パッケージ化、共有、デプロイすることもできます。

きちんと整理された状態でテキスト・データが提供されることはほとんどありません。典型的な問題を以下に示します。

- 複合フィールド：ロケーション・コード、顧客リファレンス、アカウント・マネージャ・コードで顧客IDが構成されているような場合
- 誤入力データ：住所ブロックに名前、コメント、電話番号が入力されているような場合
- 構造化が適切でないデータ：2つのフィールドをまたいで住所データが入力されているような場合
- 注記フィールド：データ構造体でサポートされていない情報が格納されているものの、通常では分析や抽出ができない有益な半構造化データが含まれている場合

これらの問題はすべて、Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization を使用して解決できます。迅速なデータのタグ付けやデータの記述にデータ主導のアプローチを使用すれば、構造化された複数の要素（必要に応じてレコード）にパースすることによって、単一レコードを操作し、事前に定義したルールに従って結果を標準化できます。画期的なパースとフレーズ分析テクノロジーだけが、テキスト・フィールドに隠れている知識を発見し、テキスト・フィールドを構造化データに標準化するためのルールを作成できます。

Oracle Enterprise Data Quality Parsing and Standardization は、定義済みのビジネス・ルールに照らした監査や同ルールに基づいたオンザフライのデータ変換にも使用でき、柔軟な適応型のデータ品質のファイアウォールとなります。また、データ品質プロセス全体を 1 つにまとめてリアルタイム Web サービスとして呼び出すこともできます。解析プロセスと標準化プロセスの結果は、ビジネスの状況を完全な形で正確に分かりやすく表示するグラフィカルなダッシュボードで確認できます。

Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge

マッチングは多くのデータ品質プロジェクトの重要な要素であり、重複排除、連結、顧客データ統合 (CDI)、マスター・データ管理 (MDM) など、さまざまなアクティビティのサポートに使用できます。Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge には強力なマッチング機能があり、この機能を使用すると、一致するレコードを特定し、必要な場合は一致したレコードをサバイバシップ・ルールに基づいてリンクしたり、マージしたりできます。柔軟でありながら直感的なルール構成によって、タスクに合わせたルール調整や反復アプローチのサポートが可能となります。独立した「簡単なレビューのみ」の機能は、基盤となるルール構成にアクセスせずにマッチング結果をレビュー用に公開します。製品ファミリの他の製品と併用すると、Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge はあらゆるプロジェクトですばらしい結果を生み出せるようにカスタマイズできる極めて強力な柔軟なソリューションになります。

また、Oracle Enterprise Data Quality Match and Merge には、オラクルの Siebel CRM のデータに簡単にアクセスできるコネクタが含まれています。監査機能を使用すると、データ品質プロセス内でデータ品質ルールおよびフロー制御を実行できます。監査プロセスの結果はダッシュボード機能を使用してグラフィカルな形式で表示でき、リアルタイム Web サービス機能を使用すれば、全体を 1 つにまとめたデータ品質プロセスをリアルタイム・サービスとして呼び出せます。

Oracle Enterprise Data Quality Address Verification Server

データ品質の問題の多くには名前や住所が関係しています。住所の書式が正しいかどうかを確認することと、それが実際に存在し宛先として使用できる本物の住所かどうかを確認することはまったく別です。Oracle Enterprise Data Quality Address Verification Server は、このギャップを埋め、世界中の各種郵便当局から入手した参照情報を使用して住所が「本物」であるかどうかを検証します。また、検証済みの住所に対しては、地図アプリケーション用のジオコードを返すこともできます。このシステムでは、240 を超える国々（つまり、人が住んでいる地球上のすべての地域）の住所をパース、標準化、文字変換、加工でき、構造化または非構造化形式の住所をキャラクタ・セットに関係なく処理できます。

Oracle Enterprise Data Quality Product Data Parsing and Standardization

データ品質の世界では、製品データにいくつかの固有の課題があります。製品データを管理しているルールは記述されている製品のカテゴリに固有です。たとえば、レジスタのデータ品質ルールはキャパシタのルールとは異なり、またスイッチ、ファスナー、およびその他の製品カテゴリのルールとも異なります。各製品カテゴリには、それぞれのボキャブラリ、用語、略語、有効値、標準化方法があります。加えて、製品情報は通常、認識とパースが必要な標準外の説明フィールドを使用してやり取りされます。この問題を複雑にしているのは、製品データが絡むほとんどのデータ品質シナリオのカテゴリは、1 つだけではなく何百または何千もの製品カテゴリを対象としていることです。

このレベルの多様性に対処するために、Oracle Enterprise Data Quality Product Data Parsing and Standardization ではセマンティック認識を使用して製品カテゴリをすばやく認識し、コンテキストに基づいて正しいルールを適用します。また、コンテキストに基づいて特定の語句の意味を推論し、新しいルールとそれに付随するコンテキストを「学習」する機能もあります。

適切に認識されると、下流のシステムで使用できるように任意の言語で生成できる、分類、属性、説明などの製品情報は、変換および標準化することが可能です。

Oracle Enterprise Data Quality Product Data Match and Merge

製品データにも、製品レコードのマッチングやマージに関する固有の課題があります。Oracle Enterprise Data Quality Product Data Parsing and Standardization は通常、標準化された製品レコードを作成するために使用されます。Oracle Enterprise Data Quality Product Data Match and Merge では、完全一致、あいまい一致、関連一致のレコードを識別し、必要に応じて定義済みのサバイバーシップ・ルールに基づいてマージできます。

Oracle Enterprise Data Quality Product Data Match and Merge は任意の言語で操作できます。また、Oracle Product Data Hub へのコネクタが含まれているため、製品情報のクレンジング、標準化、重複排除を行って MDM ハブにロードできます。

Oracle Master Data Management との統合

データ品質と MDM は互いに非常に密接に関係しています。MDM ハブには、高品質で完全な標準化された情報をロードする必要があります。1 つのデータが関連するデータ品質ルールを満たす情報に変換されると、その情報は参照データとしてハブに格納されます。Oracle Enterprise Data Quality の各製品は、どの MDM ソリューションとも併用できますが、Oracle Customer Hub および Oracle Product Hub とあらかじめ統合されています。

Oracle Data Integration との統合

システム間でデータを移動する場合は、対象データの品質、整合性、および全体的なユーザビリティを確保する明確な必要性があります。逆に、品質と整合性が不明なデータを統合する価値が問われます。

Oracle Enterprise Data Quality は任意のデータ統合システムまたは ETL システムと併用できますが、データ移動およびデータ変換のためのオラクルの主力製品である Oracle Data Integrator とあらかじめ統合されています。そのため、Oracle Enterprise Data Quality 製品を統合プロジェクトで活用して、完全なデータ統合ソリューションの一部としてシンプルかつ迅速なデプロイメントが実行できます。

お問い合わせ先

Oracle Enterprise Data Quality 製品について、詳しくは oracle.com を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc. の商標または登録商標です。UNIX は X/Open Company, Ltd. によってライセンス提供された登録商標です。0611,

Hardware and Software, Engineered to Work Together

ORACLE®